ヨド物置 エルモ
組立説明書　2508型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

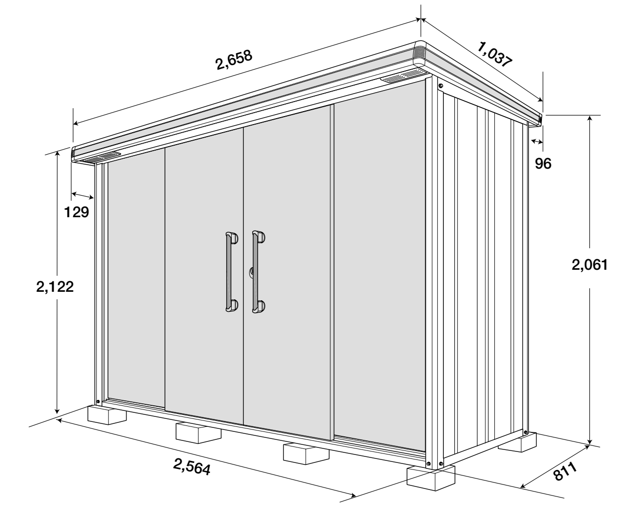
組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。


2,658
1,037
96
129
2,122
2,061
2,564
811

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

〈施工にあたって〉

1. まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
   ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmのものが適当です。
3. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
4. 部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。（安全のため必ず手袋を着用してください。）
5. 部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6. 部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

機種＼梱包	部品	前後材	左右材		柱	補強		床	屋根	壁		袖壁	鼻隠し	扉	棚板	計
			一般	積雪		一般	積雪									
2508型	LM3-0151	LM3-0205	LM3-0308	LM3-0309	LM3-0406	——	LM3-0591	6-711	LM3-0933	LM3-1015	LM3-1021	LM3-1004	LM3-1151	LM3-1705	LM3-1901	12(13)

※合計のカッコ内の数は、積雪型の梱包数を表しています。

梱包内容表

●部品

LM3-0151	
部材名	数量
ELC OD下枠接続金具 前 右	1
ELC OD下枠接続金具 前 左	1
接続金具後	2
ELC棚受 N 右	4
ELC棚受 N 左	4
ELC床押え取付金具	5
ELC下レール取付金具	6
床押え金具③	1
屋根止結金具	20
屋根止結金具KN	3
ELC間柱固定金具	4
アプセット六角3点セムスボルトM6×16	9
工具キット04	1
壁パネル止結金具	49
EL 上枠前連結金具	1
戸車上昇防止プレートOD	4
打込みアンカー(L=324)	4
アンカープレートL	4
ELC取手	2
W16ｾﾑｽﾎﾞﾙﾄM6×16G	150
フランジナットM6	3
組立説明書(LMC-2508)	1
取扱説明書(EL-06)	1
組立チェックシート	1
保証書（二年）	1
機種名ラベル(LM3-0151)	1
ソフトテープL=2560	2

●前後材

LM3-0205	
部材名	数量
ELC下枠前OD-A3.5	1
ELC下枠後 A3.5	1
ELC上枠前 OD-A3.5	1
ELC上枠後 A3.5	1
ELC床押え後 A3.5	1
ELC下レール OD-A3.5	1
ELC扉支持材OD-E	2

●左右材

LM3-0308	
部材名	数量
下枠側 A1 (94)	2
ELC上枠左 A1.0	1
ELC上枠右 A1.0 (「一般型」ラベル貼付け)	1

LM3-0309	
部材名	数量
下枠側 A1 (94)	2
ELC上枠左 A1.0	1
ELC上枠右 A1.0 (「積雪型」ラベル貼付け)	1

●柱

LM3-0406	
部材名	数量
ELC柱前・OD-右L	1
ELC柱前・OD-左L	1
ELC柱後L	2
EL間柱前L	2
ELC間柱後	3
ELC戸当り(M)L	2

●補強

LM3-0591	
部材名	数量
ELC上枠補強OD-E	1

●床

6-711	
部材名	数量
床板・A1	7

●屋根

LM3-0933	
部材名	数量
ELC 屋根板 大 A1.0	1
ELC 屋根板 小 A1.0	6

●壁

LM3-1015	
部材名	数量
ELC壁 L-A	5

LM3-1021	
部材名	数量
ELC壁 L-F	1

●鼻隠し

LM3-1151	
部材名	数量
ELC鼻隠し前 A3.5	1
ELC鼻隠し後 A3.5	1
ELC換気栓	2

●袖壁

LM3-1004	
部材名	数量
ELC袖壁 L-E	2

●扉

LM3-1705	
部材名	数量
ELC扉右 L-E	1
ELC扉左 L-E	1
EL戸車プレートOD-E	2
扉施工説明書	1

●棚

LM3-1901	
部材名	数量
ELC棚板 A1.0N	2

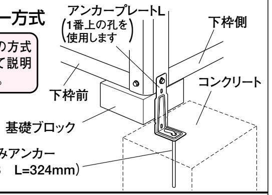
○部材名称にはA1.0、A3.5等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の長さの記号であり説明書文中では省略しております。

アンカー工事は設置場所によって図のような方法があります。
強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

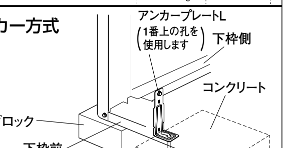
土の上に設置する場合

外アンカー方式

本文ではこの方式を基本として説明しております。


アンカープレートL
（1番上の孔を使用します）
下枠側
下枠前
コンクリート
基礎ブロック
打込みアンカー
（D13　L=324mm）

内アンカー方式


アンカープレートL
（1番上の孔を使用します）
下枠側
コンクリート
基礎ブロック
下枠前
打込みアンカー
（D13　L=324mm）

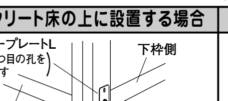
打ち込みアンカーをアンカープレートLの孔に通し、周囲にタテ、ヨコ各々30cm、深さ40cmの穴を掘り、コンクリートを打ち込んで固定します。（4ヶ所）

打ち込みアンカーの頭は、物置本体に向けてください。

※コンクリートは市販品を用意してください。

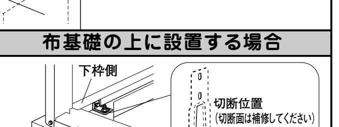
※高さ15cm以上のブロックを使用する場合は、アンカープレートLまで根巻きを行ってください。

コンクリート床の上に設置する場合


アンカープレートL
（上から2つ目の孔を使用します）
下枠側
下枠前
基礎ブロック

※オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上で）で固定してください。

布基礎の上に設置する場合

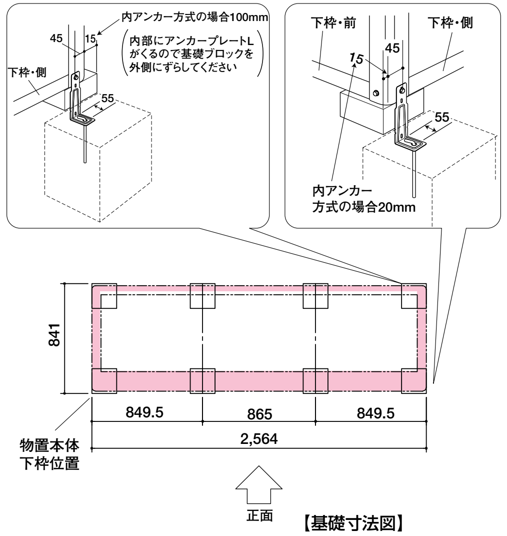

下枠側
布基礎
下枠前
切断位置
（切断面は補修してください）
この孔を使用します
アンカープレートL

※アンカープレートLを上図の位置で切断・補修して取り付けます。
市販のアンカーボルトで固定してください。

※強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

1 基礎寸法について

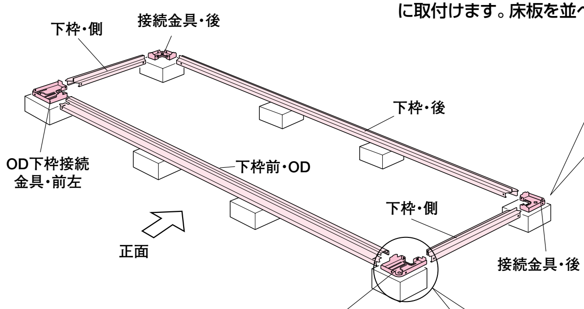
①基礎ブロックを図の寸法に並べます。【基礎寸法図】
（数字はmm）
◎物置本体と基礎ブロックの関係は、図の通りです。
◎前後の屋根の出寸法は左の姿図を参照してください。
左右は本体から47mm出ます。


内アンカー方式の場合100mm
内部にアンカープレートLがくるので基礎ブロックを外側にずらしてください
45
15
55
下枠・側
下枠・前
下枠・側
45
15
55
内アンカー方式の場合20mm
841
849.5
865
849.5
2,564
物置本体下枠位置
正面

【基礎寸法図】

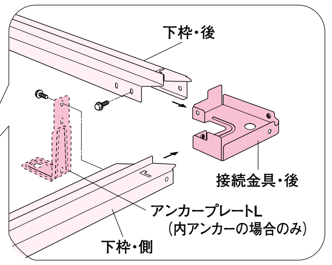
2 下枠の組立

①基礎ブロックの上に図のように部材を並べます。【下枠の組立図①】


下枠・側
接続金具・後
下枠・後
OD下枠接続金具・前左
下枠前・OD
下枠・側
正面
接続金具・後
OD下枠接続金具・前右

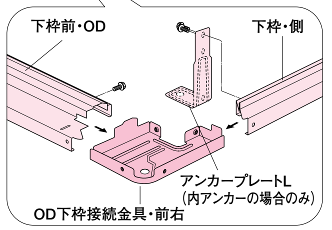
【下枠の組立図①】

②**接続金具・後**に**下枠・側**および**下枠・後**を差込み、ボルトで固定します。
（下枠側は左右共通です）
【下枠の組立図②】
※内アンカーで施工する場合は、同時に**アンカープレートLを下枠・側**に取付けます。床板を並べる前に取付けてください。


下枠・後
接続金具・後
アンカープレートL
（内アンカーの場合のみ）
下枠・側

【下枠の組立図②】

③**OD下枠接続金具・前右**に**下枠前・OD**および**下枠・側**を差込み、ボルトで固定します。
左側も同様にして組立てます。
【下枠の組立図③】
※内アンカーで施工する場合は、同時に**アンカープレートLを下枠・側**に取付けます。
※下枠接続金具に記載している位置まで下枠側を差し込んでください。

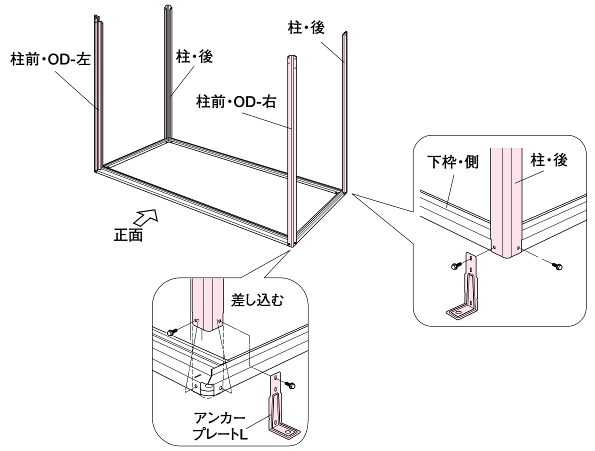

下枠前・OD
下枠・側
アンカープレートL
（内アンカーの場合のみ）
OD下枠接続金具・前右

【下枠の組立図③】

④**水準器**を使って基礎の水平を出してください。
※基礎の水平が出ていないと扉がスムーズに開閉しない場合や、鍵がかかりにくくなる場合があります。

3 柱の組立

①**柱前・OD左右**の下端を下枠の切り欠き孔に差し込みボルト止めします。
同時にアンカープレートLを本体側面に取付けます。
柱・後も同様にして立てます。
【柱の組立図①】

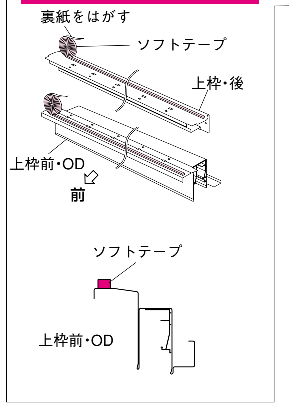

柱前・OD-左
柱・後
柱・後
柱前・OD-右
正面
下枠・側
柱・後
差し込む
アンカープレートL

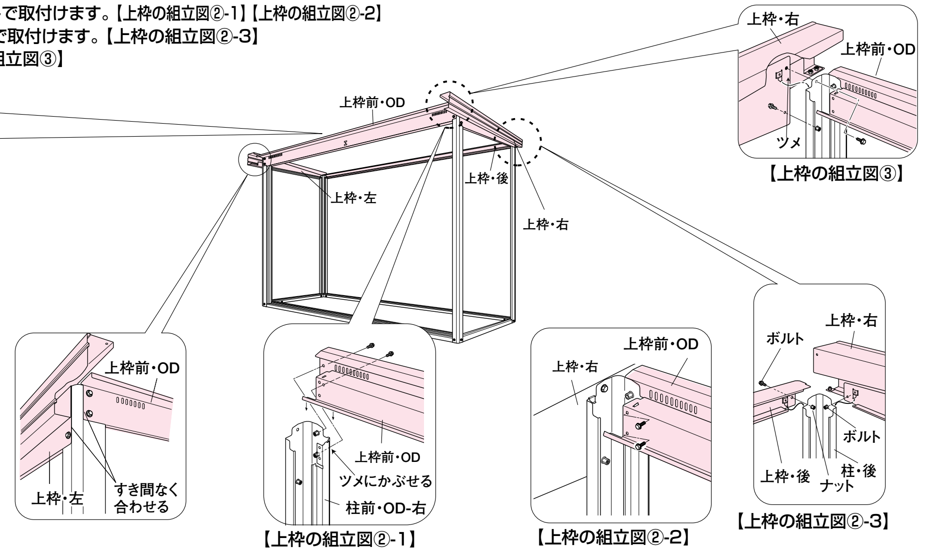
【柱の組立図①】

4 上枠の組立

①**ソフトテープ**を**上枠前・OD**および**上枠・後**に貼付けます。（ソフトテープは図の位置に貼付けてください。）
【上枠の組立図①】
②**上枠前・OD**を**柱前・OD**のツメにかぶせて、ボルトで取付けます。【上枠の組立図②-1】【上枠の組立図②-2】
上枠・後のツメを柱・後に引っかけ、ボルト・ナットで取付けます。【上枠の組立図②-3】
③**上枠・右、上枠・左**も同様に取付けます。【上枠の組立図③】

柱に取付ける前に貼付けてください。


裏紙をはがす
ソフトテープ
上枠・後
上枠前・OD
前
ソフトテープ
上枠前・OD

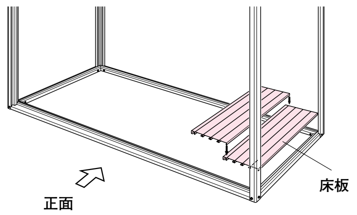

上枠前・OD
上枠・左
上枠・後
上枠・右
上枠・右
上枠前・OD
ツメ
上枠前・OD
上枠・左
すき間なく合わせる
上枠前・OD
ツメにかぶせる
柱前・OD-右
上枠前・OD
上枠・右
ボルト
上枠・右
ボルト
上枠・後
ナット
柱・後

【上枠の組立図③】
【上枠の組立図②-1】
【上枠の組立図②-2】
【上枠の組立図②-3】

上枠と柱のリブとはすき間なく合わせて固定してください。

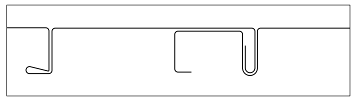
5 床板の取付け

①**床板**を一方の端（どちらからでもかまいません）から順に並べます。【床板の取付図②-1】
重ね部分を【床板取付図②-2】のようにミゾにはめ込み並べます。



【床板の取付図①-1】

床板の重ね方

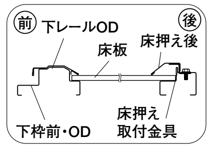


【床板の取付図①-2】

②**下レールOD**と**床押え後**を取付けます。**下レールOD**は**床板**と**下枠前・OD**の上に載せ、庫内側のみ下レール取付金具で取り付けます。
【床板の取付図②-1】　【床板の取付図②-2】
床押え後は床押え取付金具を下枠・後に取付け、床押え後を金具にかぶせ固定します。【床板の取付図②-3】

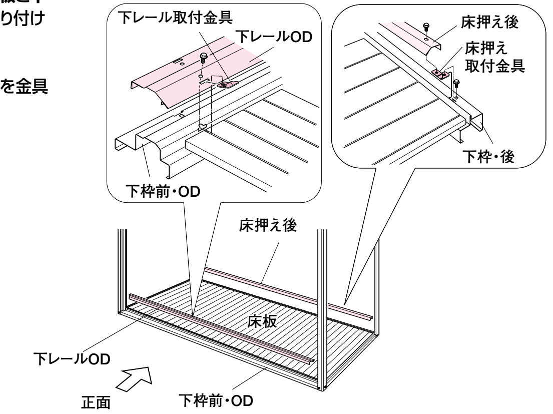
下レールの正面側はすべてここでは固定しません。
工程7で固定します。

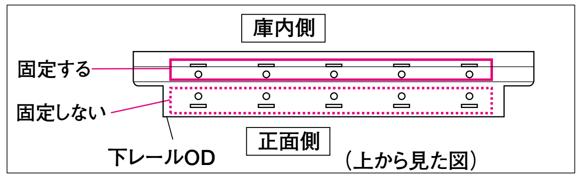
断面図


前
後
下レールOD
床板
床押え後
下枠前・OD
床押え
取付金具

【床板の取付図②-1】

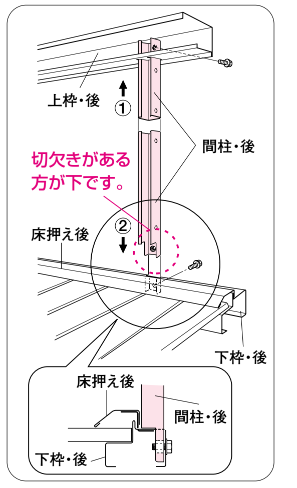
【床板の取付図②-2】　【床板の取付図②-3】


下レール取付金具
下レールOD
下枠前・OD
床押え後
床押え
取付金具
下枠・後
床押え後
床板
下レールOD
正面
下枠前・OD


庫内側
固定する
固定しない
下レールOD
正面側
（上から見た図）

6 間柱後の組立

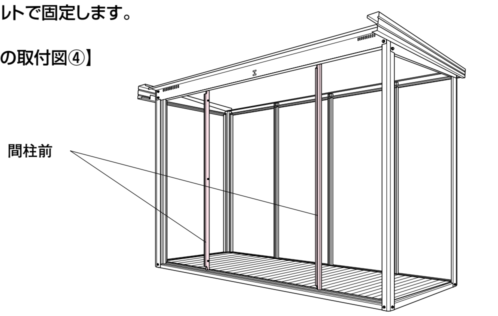
①**間柱・後**の上端を**上枠・後**に、差し込みます。
【間柱後の組立図①】
②下端を**下枠・後**に差し込んで上下共ボルト止めします。

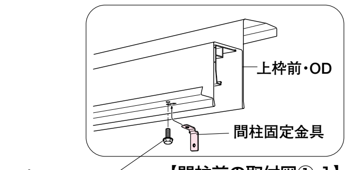

上枠・後
①
間柱・後
切欠きがある方が下です。
②
床押え後
下枠・後
床押え後
間柱・後
下枠・後

【間柱後の組立図①】

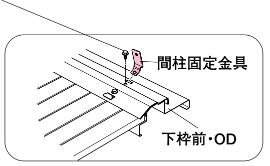
7 間柱前の取付け/上枠補強の取付け/上枠前連結金具

①**下枠前・OD下レール**（工程5で固定しなかった箇所）に**間柱固定金具**と**下レール取付金具**をボルト止めします。
【間柱前の取付図①-1】　【間柱前の取付図①-2】　【間柱前の取付図①-3】
②**間柱前**の上側を先に入れ、次に下側を入れて両端をボルト止めします。【間柱前の取付図②】
③**上枠前連結金具**を上枠・前の中央に差し込み、床押え金具③とボルトで固定します。
【上枠前連結金具の取付図③】
④積雪型は**上枠補強**を屋根止結金具KNで取付けます。【上枠補強の取付図④】
※一般地用では屋根止結金具KNは使用しません。

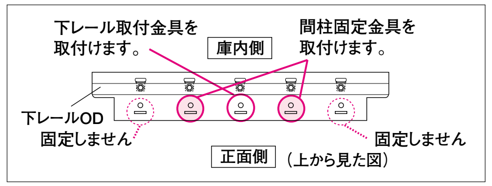



上枠前・OD
間柱固定金具
アプセット
六角3点
セムスボルト
M6×16

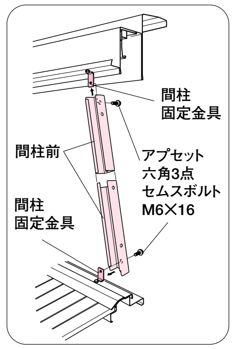
【間柱前の取付図①-1】


間柱固定金具
下枠前・OD

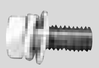
【間柱前の取付図①-2】


下レール取付金具を
取付けます。
庫内側
間柱固定金具を
取付けます。
下レールOD
固定しません
固定しません
正面側
（上から見た図）

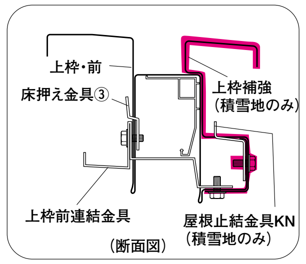
【間柱前の取付図①-3】

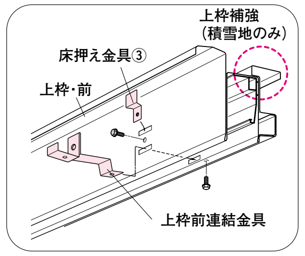

間柱
固定金具
間柱前
アプセット
六角3点
セムスボルト
M6×16
間柱
固定金具

【間柱前の取付図②】



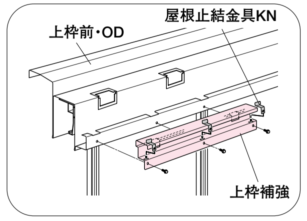
アプセット六角3点
セムスボルトM6×16


上枠・前
床押え金具③
上枠補強
（積雪地のみ）
上枠前連結金具
屋根止結金具KN
（積雪地のみ）
（断面図）


上枠補強
（積雪地のみ）
床押え金具③
上枠・前
上枠前連結金具

【上枠前連結金具の取付図③】

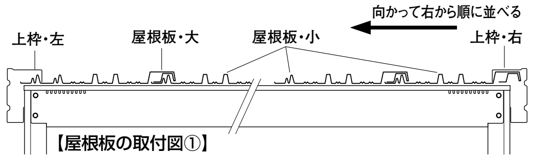
※積雪地用のみ


上枠前・OD
屋根止結金具KN
上枠補強

【上枠補強の取付図④】

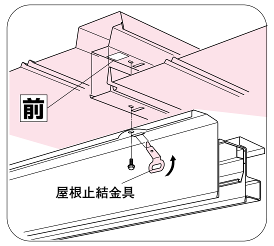
8 屋根板の取付け

①**屋根板**は、物置に向かって右端から**屋根板・小**を順に取付けて行き、（1枚目〜6枚目）左端に**屋根板・大**（7枚目のみ）を取付けます。【屋根板の取付図①】
この時 **前** のマークの入っている方を前にします。【屋根板の取付図②】
（屋根板は前側から差し込みます。この時、ソフトテープを破損しないように注意してください。）

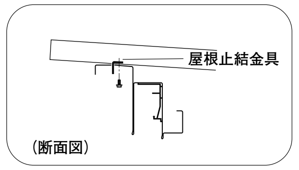

向かって右から順に並べる
上枠・左
屋根板・大
屋根板・小
上枠・右

【屋根板の取付図①】

②隣同志の屋根板の**角孔**と**上枠・後**の**角孔**に屋根止結金具を通しボルトで仮止めします。**上枠・前**も同様に仮止めします。
※屋根止結金具は、上枠・後から先に取付けます。屋根を全て取付けた後、締めこみます。
【屋根板の取付図②】



【屋根板の取付図②】



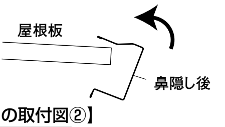
屋根止結金具の向きを確認して
取付けてください。

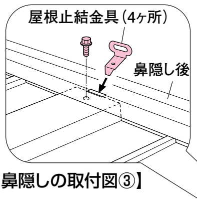
9 鼻隠しの取付け

※オプショントイを取付ける場合は、「オプショントイセット」
組立説明書を先にお読みください。

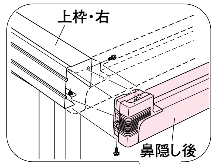
①**鼻隠し前**の両端を**上枠・右、上枠・左**に差し込み、ボルト止めします。
左右共、上下3ヵ所を止めます。【鼻隠しの取付図①-1】
鼻隠しの中央を上枠前連結金具にボルトで固定します。
【鼻隠しの取付図①-2】
②**鼻隠し後**も同様に取付けます。左右共、側下2ヶ所止めます。
【鼻隠しの取付図②】
③**屋根止結金具**を使って**鼻隠し後**を**屋根板**に固定します。
【鼻隠しの取付図③】

下からまわし込む

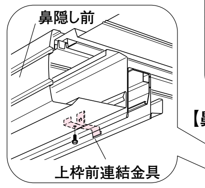



屋根止結金具（4ヶ所）
鼻隠し後

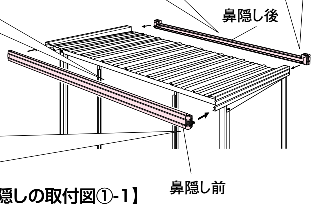
【鼻隠しの取付図③】

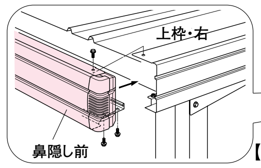


【鼻隠しの取付図②】


鼻隠し前
上枠前連結金具

【鼻隠しの取付図①-2】

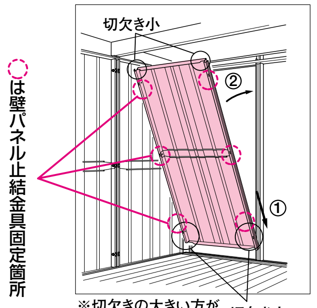




【鼻隠しの取付図①-1】

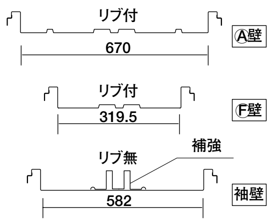
10 壁パネルの取付け

①室内から**壁パネル（Ⓐ壁・Ⓕ壁の2種類があります）**をはめ込みます。下を先に入れて、上をはめ込みます。【壁パネルの取付図①-1】
壁パネルの配置は【壁パネルの取付図①-2】参照。（切欠きの大きい方が下です）
②上下中央の3ヶ所を**壁パネル止結金具**で止めます。柱前と固定する箇所は壁パネル止結金具は使いません。柱後部と袖壁を固定する箇所は壁パネル止結金具で固定します。【壁パネルの取付図②-1】【壁パネルの取付図②-2】【壁パネルの取付図②-3】【壁パネルの取付図②-4】
③**袖壁**は壁パネルと同様に取付けます。
注意 切欠きの大きい方が上です。（壁パネルと上下逆）
【壁パネルの取付図①-2】参照。

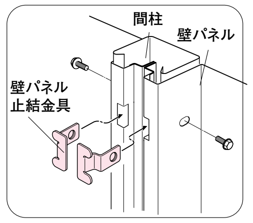

は壁パネル止結金具固定箇所
切欠き小
②
①
切欠き大

※切欠きの大きい方が下です。

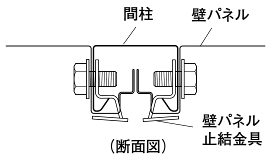
【壁パネルの取付図①-1】


リブ付
670
Ⓐ壁
リブ付
319.5
Ⓕ壁
リブ無
補強
582
袖壁

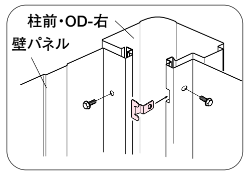
壁パネルの取付詳細図


間柱
壁パネル
壁パネル
止結金具

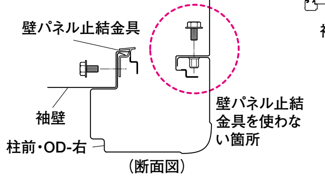
【壁パネルの取付図②-1】


間柱
壁パネル
壁パネル
止結金具
（断面図）

【壁パネルの取付図②-4】

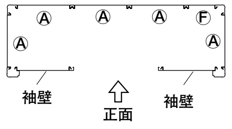


【壁パネルの取付図②-2】


壁パネル止結金具
袖壁
柱前・OD-右
壁パネル止結
金具を使わな
い箇所
（断面図）

【壁パネルの取付図②-3】

壁パネルの取付位置

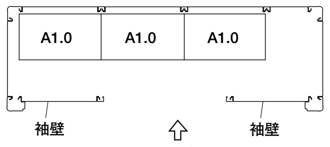


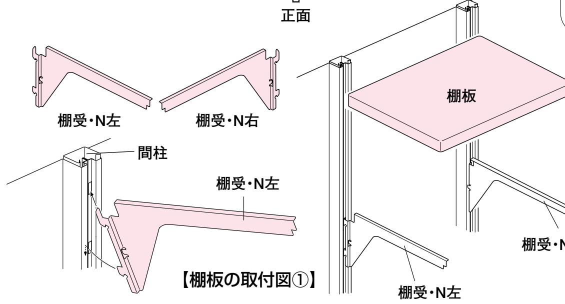
【壁パネルの取付図①-2】

11 棚板の取付け

棚板1枚当り、棚受を2枚使用します。
（標準でA1.0の棚板が2枚付いています。）
①棚板に向かって右端に**棚受・N右** 左端に**棚受・N左**を使用します。
【棚板の取付図①】

棚板が取り付けられる位置

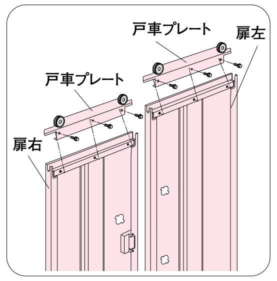

A1.0
A1.0
A1.0
袖壁
正面
袖壁


棚受・N左
棚受・N右
間柱
棚受・N左
棚板
棚受・N右
棚受・N左

【棚板の取付図①】

12 扉の取付け

①**戸車プレート**を扉・右、扉・左に取付けます。
【扉の取付図①-1】


戸車プレート
扉左
戸車プレート
扉右

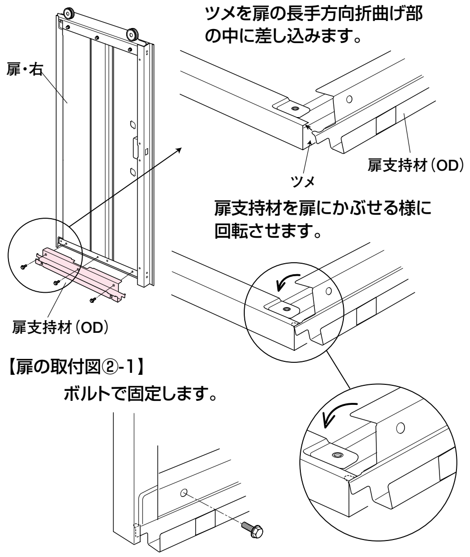
【扉の取付図①-1】

鍵は扉の裏面に貼付けてあります

②**扉右・左**に**扉支持材（OD）**を扉下側に取付けます。
【扉の取付図②-1】
③扉を吊り込みます。
【扉の取付図③-1】

扉支持材（OD）の取付方

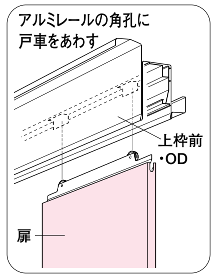
ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。

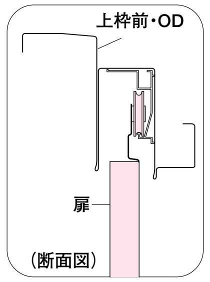

扉・右
ツメ
扉支持材（OD）
扉支持材（OD）

扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。

【扉の取付図②-1】

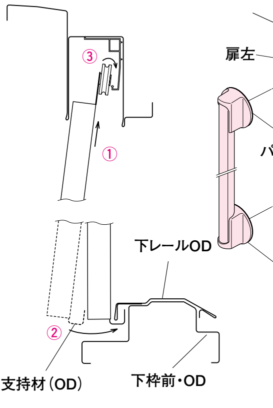
ボルトで固定します。


アルミレールの角孔に
戸車をあわす
上枠前
・OD
扉

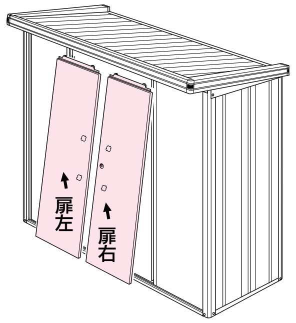


扉の吊り込み方

①戸車プレートを上レールに差し込みます。
②扉支持材を下レールODに引っ掛けます。
③戸車を上レールに落とし込みます。
※下図の順番通りに吊り込んでください。


③
①
②
下レールOD
扉支持材（OD）
下枠前・OD

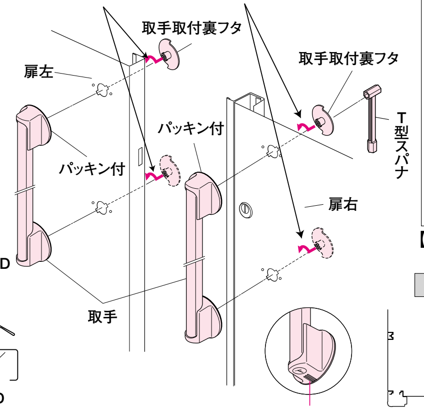
※扉を吊り込む際は下枠前・ODの上面に砂埃が無いことを確認してください。



【扉の取付図③-1】

④取手を**扉右・左**に取付けます。扉を取手と取手取付裏フタで、挟み取手取付裏フタをT型スパナで回します。
【取手の取付図④】
※取手には上下があるので向きに注意してください。端にミゾがついている方を下に向けてください。

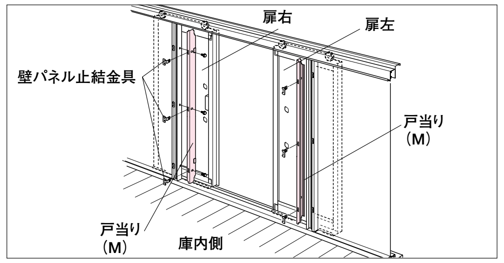
※取手取付裏フタを矢印の向きに90°回転させます。


取手取付裏フタ
取手取付裏フタ
扉左
パッキン付
パッキン付
T型スパナ
扉右
取手

【取手の取付図④】 ミゾが付いている方を下にしてください。

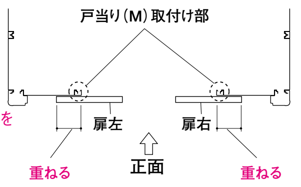
13 戸当り（M）の取付け

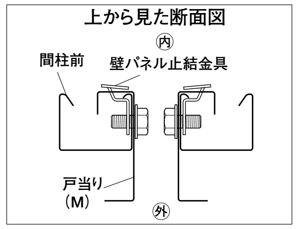
①扉前・扉後・袖壁を図のように重ねた状態で間柱前に**戸当り（M）**を開口部側に壁パネル止結金具で取付け、扉後に**戸当り（T）**をボルトで取付けます。【戸当り（M）の取付図①-1】　【戸当り（M）の取付図①-2】
※扉を開閉した時、戸当りと扉（補強）が当たる場合は、戸当りを前後方向に調整してください。


扉右
扉左
壁パネル止結金具
戸当り
（M）
戸当り
（M）
庫内側

【戸当り（M）の取付図①-1】

戸当り（M）の取付位置

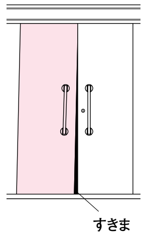

戸当り（M）取付け部
扉左
扉右
重ねる
正面
重ねる

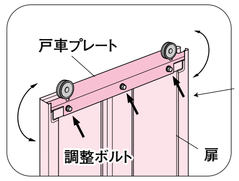

上から見た断面図
内
間柱前
壁パネル止結金具
戸当り
（M）
外

【戸当り（M）の取付図①-2】

14 建付けの調整

①扉を閉めた時図のように隙間ができるような場合や、隙間がなくても鍵のかかりにくい場合は、戸車プレートを固定しているボルト（**調整ボルト**）をゆるめ、（扉1枚につき3本）調整します（扉前・後）。【建付け図①】
※建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。



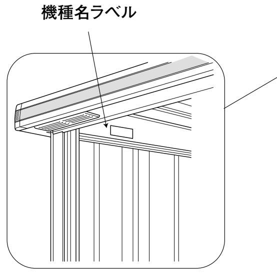

戸車プレート
調整ボルト
扉

ゆるめて調整した後締め直します。

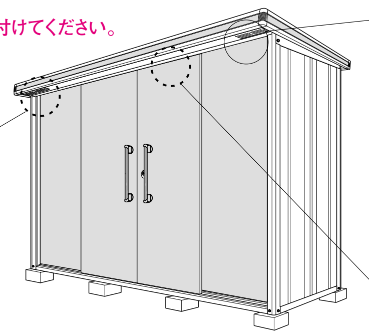
【建付け図①】

15 その他の部品取付け

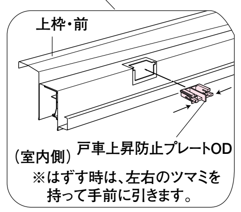
①取扱説明書に同封の対応する機種名ラベルを貼ります。
【部品取付け図①】
※機種名ラベルは必ず貼付けてください。



【部品取付け図①】



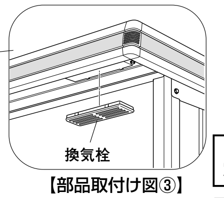
②上レールに**戸車上昇防止プレート**ODを取付けます。（4カ所）
【部品取付け図②】
※戸車上昇防止プレートは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉がはずれる原因になります。
又扉を外すときは戸車上昇防止プレートODを必ず取り外してください。


上枠・前
（室内側）
戸車上昇防止プレートOD

※はずす時は、左右のツマミを持って手前に引きます。

【部品取付け図②】

③換気栓（左右共通）をはめ込みます。
【部品取付け図①-2】



【部品取付け図③】

※換気栓には前後があります。製品の内側にある刻印で確認してください。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ

組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ

取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

（2508）
ヨドコウ
淀川製鋼

（以上で完成です）（2007.1月制作）